

日本医療情報学会
第20回上級医療情報技師能力検定試験
(2026年度)

一次試験問題冊子
(午後)

受検番号：_____

氏 名：_____

2026年8月23日

課 題

下の文章を読み、筆者の考えを200文字程度でまとめ、その中からあなたが考える課題を挙げ、その課題に対する具体的な対策を提案しなさい。

解答は、800文字以上、1,000文字以内で論述しなさい。

医療機関がサイバー攻撃の被害を受けていることを受けて、2023年4月に医療法施行規則が改正された。そのなかで、セキュリティを確保するために必要な措置を講じることが新たに医療機関の責務として明文化された。また、同年5月には厚生労働省から「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第6.0版」が示され、経営管理層の責任のもと医療機関の組織的な対応が求められるようになった。

医療DXの実現には、サイバーセキュリティの確保が欠かせない。ガイドラインの要求に対して適切に対応していくためには、医療機関のなかでセキュリティに関する役割を担う人材の育成や配置を進めていくことが必要である。医療機関に求められるセキュリティ人材は、サイバー攻撃による被害を未然に防止するための予防的な取り組みをはじめ、業務継続計画（BCP）の策定と発動するための用意、被害を受けた場合に医療機関の経営層とセキュリティの専門家との橋渡しをするなど、様々な役割を担うことが予想される。その役割を担うためには、医療機関の診療業務、病院情報システムの構成、ネットワーク構成を把握していなければならない。

医学医療、医療情報システム、情報処理技術について一定レベル以上の知識・技術を有し、医療情報システムに関する実務経験と幅広い知識、豊かな経験に基づく高度な実践的な知識・技術を持つ人材が、セキュリティに関する知識・技術をさらに身に着けることにより、診療現場を理解したセキュリティ人材として幅広く活躍することが期待される。

出典：谷川琢海「診療業務を理解したセキュリティ人材の育成に向けて」医療情報学 44(3), 127-128, 2024 より抜粋・改変

受検上の注意（午後）

1. 一般的注意事項

- 座席の受検番号を確かめ、机に貼付された受検番号のところに受検票を並べて置いてください。
- 机の上には受検票、BまたはHBの鉛筆（黒）、消しゴム、鉛筆削り、時計機能だけの時計、眼鏡以外のものを置いてはいけません。
- 解答は、小論文方式になっています。

2. 携帯電話・電卓などの使用禁止

- 時計のアラームは使用しないでください。
- 電卓などの計算機能つき機器の使用は禁止します。
- 携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ、ワイヤレスイヤホン等は、必ず電源を切ってカバンの中にしまってください。

3. 問題冊子・解答用紙について

- 問題冊子は、指示があるまで開かないでください。
- 解答用紙の所定の箇所に受検番号、氏名、生年月日を書いてください。なお、受検番号を記入する欄は2箇所ありますので、注意してください。
- 受検番号および氏名の未記入は採点対象外（不合格）となります。
- 問題冊子に落丁または不鮮明な箇所がある場合は、手をあげて監督者に合図してください。
- 問題冊子は持ち帰ってください（机に残された冊子は処分します）。

4. 途中退出等について

- 試験中、体調が悪くなった場合やトイレに行きたくなった場合は、手をあげて監督者の指示にしたがってください。試験時間内に回復すれば試験場に戻ることができます。ただし、試験時間は延長しません。
- 試験開始後30分経過した後から、試験終了10分前までは退出可能です。試験終了前に退出する場合は、手をあげて監督者の指示にしたがってください。

5. 試験終了について

- 試験終了の合図とともに鉛筆を置き、解答用紙の表を下にして机の上に置いてください。
- 監督者が解答用紙を回収します。監督者から指示があるまでは席を立たないでください。

6. 不正行為について

- 試験開始後の私語や不審な行動は不正行為と見なします。
- 不正行為を行った場合は、退場を命じるとともに、不合格とします。